

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名	坂井 光太
所属学	工学研究科 電子物理系専攻
学年	修士 1年
留学先	Vulcanus in Europe 2022 Fraunhofer IISB(ドイツ)での インターンシップ
留学期間	2022/8/10~2023/3/22

留学レポート Study Abroad Report

★ プログラム応募の経緯

★ 4年になるまで、勉強はそこそこにサークル活動に精を出してきました。研究室に配属された後は、周りにあわせてなんとなく大学院に進学し、就職するものだと考えていました。しかし、休学して自身の道を模索する友人の影響を受け、このままでいいのかという焦りを感じるようになりました。また、所属していた研究室の規模が小さく、視野が狭くなってしまいうことも不安を感じるようになりました。そこで、1度違う環境で研究に取り組んでみたいという思いから、語学研修と企業研修からなるヴルカヌスインヨーロッパプログラムに応募しました。学部を卒業して、大学院の入学直後1年休学して、プログラムに参加しました。

★ プログラムの内容

★ 語学研修では、コロナ禍のため英語とドイツ語のオンラインレッスンを受講しました。英語はB2レベル、ドイツ語はA1レベルを修了しました。実際に、ドイツに渡航してみると、英語ドイツ語ともに語学力のなさを痛感することが多かったです。企業研修はドイツの研究機関である Fraunhofer IISB (集積システム・デバイス技術研究所) で6カ月(ビザ取得の遅れのため実質4カ月)のインターンに取り組みました。Fraunhofer IISB は Erlangen というドイツ南部の小さな大学都市に位置しています。インターンではシミュレーションによるパワー半導体デバイス設計の最適化に取り組みました。学部で取り組んでいたテーマとやや異なることもあり、教科書を片手にシミュレーションに取り組んでいました。日本で働いた経験がなかったこともあり、どのように仕事を進めていけばいいのか試行錯誤の日々でした。自身で論文を読み進めたり、積極的に上司と議論するようにするなど心がけていました。自身の成長にはつながったインターンでしたが、何か貢献できたのかを考えると悔しさが残るものでした。

★ 余暇時間の過ごし方

★ ドイツ語の語学学校に通ったり、周辺国に旅行したりして過ごしていました。その他には、在独研究者のキャリアアフォーラムに参加したり、meetup や facebook から国際交流コミュニティや日独のスタムティッシュに参加しました。インターンだけでは人間関係を築いていくのが難しく、もともと社交的でないこともあり、意識的にこのような集まりに参加するようにしていました。少しずつ現地で友人や顔見知りが増えていきました。



国際交流コミュニティでの写真



ヨーロッパ旅行先での写真